

■けい酸塩系「シリカリ」 施工要領書

【適用条件】

適用範囲

○適用可能な範囲

- ・コンクリート構造物全般(モルタル含む)
- ・0.2mm未満のひび割れ

(想定される用途)

- ・新設コンクリート構造物の乾燥収縮ひび割れ抑止、改質化、防水対策
- ・既設コンクリートのひび割れ補修(0.2mm未満)、改質化、止水・防水対策

○特に効果の高い適用範囲

- ・沿岸地域、凍結防止剤など塩害が予測される場合
- ・止水対策が必要な場合

○適用できない範囲

- ・水中コンクリート
- ・タイル貼り、防水、塗装仕上げのコンクリート構造物
- ・0.2mm以上のひび割れ(別途処理が必要)

○適用する面

- ・塗布方向(下向き、横向き、上向き)を問わず適用可能
- 上向き施工の場合は、液垂れ対策必要(塗布回数増により、1回の塗布量減)

○施工時の環境

- ・気温5℃以上40℃未満で塗布
- ・降雨、降雪、強風時は施工不可

留意事項

○設計時

- ・0.2mm以上のひび割れは、別途補修が必要となります。
- ・既存コンクリートへの単独使用は、コンクリート標準示方書(維持管理編)の外観グレードⅠへの適用が原則です。グレードⅡ、Ⅲ-1で他の工法を組み合わせる場合は、示方書やコンクリートライブラリ119を参照して下さい。

○施工時

- ・製品安全データシート(SDS)を確認の上、作業して下さい。

○維持管理費

- ・特になし

○その他

- ・外壁タイル面への塗布や防水保証が必要な場合は、連絡願います。

○シリカリ塗布後の塗装

- ・塗装する場合は、5日以上明けて塗装してください。付着試験結果は事前に確認下さい。

【標準歩掛り】

○標準編成 300㎡の場合

項目	仕様	数量	単位	適用
材料費	シリカリ 無色タイプ	66.9	Kg	シリカリ1回塗り
労務費	世話役	1	人	
労務費	塗装工	4	人	
労務費	普通作業員	2	人	
その他	清掃用具、塗装用具	1	式	

(適用範囲外)

・事前の高圧洗浄、養生費、工具用の電源、品質試験、専門技術者派遣費用

【塗布量】

○塗布量

・標準塗布量(0.223Kg/㎡)の場合、1缶で約80㎡ですが、塗布量不足や塗りむらを避けてください。

濡れ色度合いで、**目視塗布判定**、空缶管理。

・標準的な塗布量は、0.223Kg/㎡(施工方法・施工向きによるロス率は下表参照)ですが、**過吸収する部位は、飽和するまで塗布して下さい。(追加塗布量は、標準塗布量2倍以内が目安)**尚、過剰な塗布は、白化の原因となりますので、避けて下さい。

(施工方法・施工向きによるロス率)

	上向き	横向き	下向き
刷毛塗り	15~20%	10~15%	5~10%
ローラー塗り	15~20%	10~15%	5~10%
噴霧	15~20%	10~15%	5~10%

○着色タイプ

着色タイプも用意しています。紫外線が届きにくい場所でも30日程度で退色します。フェノールフタレインを使用していません。

【品質管理】

○専門技術者

施工管理を充実したい場合は、専門技術者を用意していますので、連絡ください。

【施工手順】

○手順書 次ページ参照

住環境創建株式会社

tel 053-412-5513
info @ tokaikutai . co . Jp

fax 053-412-5514

■けい酸塩系「シリカリ」 施工要領書 (手順書)

1. 施工前

事前事項	シリカリ施工前に酸性洗浄を使用しない。酸性洗浄を行った後は散水して中和する。中和していないところへ、シリカリを塗布すると白く変色し除去できない場合があるので注意。
作業範囲	安全確保と作業範囲の確認をし、施工範囲を小さめに区画する。 シリカリを塗布した後は滑りやすいので、転倒転落に厳重注意する。
養生	シリカリが、石材・鋼製建具・ガラス・手摺・塩ビ等・車両に付着したまま乾燥すると白くなって完全に取れない恐れがあるので、ビニール養生、施行時に水を掛ける水養生、スタイロフォームなどでの飛散防止等、対策を実施する。
他部材の境目	他部材(塩ビ管・鋼管・鉄筋など)がコンクリートを貫通するなどし縁が切れている端末などのコンクリートとの境目には止水効果はないので別途対策要。

2. 施工

洗浄	レイタンスと反応して部分的に白化する可能性があるため、高圧洗浄でレイタンスを除去するか、丁寧に散水しながらブラシ洗浄するとよい。必要がなければ省いてもよい。
塗布	区画に随改質用を原液塗布する。噴霧器やローラーなどを使用して均等に塗布を行う。塗布量は、0.223kg/m ² 。1回塗布。 風がある場合はスタイロフォーム等でパーテーションするなど工夫する。 吸い込みの激しい部位には連続作業で同量の追加塗布をするとよい。
※土木工事の場合でも通行する床は、防滑のため、塗布後、「防水工事の場合/散水洗浄」すること	
防水工事の場合/散水洗浄	20～30分程度ほど浸透を待つ。散布したところが乾燥するようなどころには、少量の水を掛けながら乾燥させないように監視する。概ね目視でシリカリの浸透を確認したら、たっぷり散水しながらポリッシャーやデッキブラシで表面のヌメリを丁寧に擦り洗い除去する。 ※ シール・ウレタンを施工する部位は剥離防止のため多量散水しながらデッキブラシ等で念入りに擦り洗いしておく。 一連の作業が完了したら熱可塑性樹脂製の駐車場ナンバーをバーナー熱溶着する部位はもう一度、多量散水しながら念入りに擦り洗う。最後に水溜りをゴムスqueegeeで除去する。

片付け 確認	シリカリの施工が完了したら、後片付けを行う。使用した機械や道具は水でよく洗う。撤去した養生材は必ず指定された場所に廃棄する。不備がないか点検を行う。監督員・係員等担当者に完了検査を受ける。
留意点	シリカリは原液で使用する。ガラスや金属類、塩ビなどを養生する。強風時に施工する時は材料の飛散対策をする。施工直後に酸性薬剤で洗浄しない。施工面の温度が40℃以上の時は施工しない。材料の保管は密封し直射日光・火気を避け暗所保管する。開封後は速やかに使い切る。子供の届く所に置かない。
取扱作業注意事項	容器から出し入れする時はこぼれないように注意する。取扱中は保護手袋を着用し作業状況に応じ保護メガネ保護マスク等を着用する。取扱後は手洗いや、うがいをを行う。目に入らないように注意する。材料を飲み込まないように注意する。散布中の材料を吸い込まないように注意する。本製品はコンクリートの改質用途以外に使用しない。
応急措置	皮膚についた場合は直ちにふき取り、大量の水でよく洗い流す。かゆみや炎症が発生した場合は直ちに医師の診断を受ける。目に入った直ちに清水で十分に洗浄して、眼科医の診断を受ける。散布中に気分が悪くなったり頭痛等の体の異常を感じた場合、直ちに散布を中止して、体を休め、医師の診断を受ける。飲み込んだ場合は多量の水又は牛乳を飲ませて吐き出させ、直ちに医師の診断を受ける。

住環境創建株式会社

tel 053-412-5513

fax 053-412-5514

info @ tokaikutai . co . Jp